

# 予算決算委員会（予算審査）

## 予算審査 総務部



◆令和6年度弥富市一般会  
計予算  
「繰入金について」

問 今後5年間の投資的経  
費の主な事業別の見込み額  
は。

答 公共施設の長寿命化  
や予防保全の事業に約  
47億7600万円、農地  
保全の県営事業に約7億  
円、弥富駅自由通路整備  
事業に約38億4100万  
円、市道鎌倉線の整備に約  
3億5500万円、その他  
経常的に行うべき工事に  
約29億2900万円を見込  
んでいる。

問 当初予算における財  
政調整基金の繰入金が約  
2億1千万円増加している  
理由は。

答 一般財源で賄われる人  
件費、扶助費及び物価高騰  
により上昇した物件費が大  
きく増加したため。

「歳出目的別について」

問 防災に関する費用は増  
えているか。

答 消防費全体では海部南  
部消防組合負担金で、約  
7100万円の増額。

問 災害対策費は前ヶ平地区の  
避難路整備工事が完了し約  
1千万円減額など。

問 能登半島支援に行った  
職員のヒアリング結果を予  
算に反映させたか。

答 反映していない。  
6月に予定の「羅災証明  
実務・住宅被害認定訓練」  
に活かす。

「歳出節別明細書について」

問 需用費と工事請負費は  
人件費やエネルギー・物価  
上昇分を見込んだ予算編成  
か。

答 上昇分を加味した予算  
編成。

「ふるさとやとみ応援寄附  
金について」

問 寄付金を増やすような  
取り組みは。

答 全国的な取り組みを注  
視しながら効果的な取り組  
みを模索していく。

「地方創生推進事業支援業  
務委託料について」

問 「やとみっけベース」  
の周知方法は。

答 広報誌や市ホームページ、  
SNS等を中心に広く  
発信していく。



やとみっけ!  
地域市バンク  
弥富資源

「災害対策事務事業につい  
て」

問 食料の備蓄はどれくら  
いされているか。

答 人口数や市民以外の帰  
宅困難者等も考慮し、1日  
1食で5万6千食を備蓄。

問 市内オストメイトの  
人数は。



オストメイト  
専用トイレット

※オストメイト  
人工肛門・人工膀胱を  
装着している人

「固定資産税について」

問 固定資産税の家屋部分  
償却資産部分が増額である  
が積算根拠は。

答 令和5年度、一部大規  
模家屋が積算見込みを大き  
く上回った。償却資産の積  
算も当初の見込みを大きく  
上回る申告があり影響を受  
けた。これに加え一部大規  
模物流施設の償却資産の増  
加を見込んでいる。

## 予算審査 建設部



◆令和6年度弥富市一般会  
計予算

「農業振興事業について」

問 共同防除事業費補助金  
431万円で、効果的な対  
策ができるか。

答 カメムシ等の害虫によ  
る被害に対し経費の一部を  
支援しており、予算を拡充  
した。

「飲食店等創業支援事業補  
助金について」

問 補助金が50万円である  
が、補助金を店舗と移動販  
売に区分して支給する必要  
があるのでは。

「創業経費200万円以  
上を支出した事業者に1件  
あたり50万円を支援するも  
ので、区分は行わない。

問 商工会に加入しないと  
補助金は支給されないのか。

答 支援には商工会加入が  
条件。

問 継続的に事業を行うの  
か。

答 継続する予定。



「植樹材料費について」

問 芝桜をどのように植樹  
するのか。

答 1万6千株を三ツ又池  
公園の拠点広場に植樹する  
予定。

「三ツ又池保全基金積立金  
について」

問 当初予算案に80万円計  
上した根拠と利用計画は。

答 公園の維持管理に役立  
てるため計上した。今後は  
公園の利活用を図り、生じ  
た歳入を積み立てていく。

「橋梁工事請負費について」

問 令和6年度は「弥富市  
橋梁長寿命化修繕計画」全  
体の何%が完了するのか。

答 点検及び修繕の結果に  
より数値が変動する。策  
定時点の計画分としては  
令和6年度の修繕工事で  
100%完了。

「空家対策事業について」

問 市内全域の空家件数を  
どのように把握するのか。

答 住宅地図を作成する企  
業が収集している現地調査  
情報等を活用し、把握する。

問 調査結果を自治会等か  
ら求められた際に開示する  
のか。

答 開示することは考えて  
いない。

問 過去に空家調査はいつ  
行ったか。

答 平成28年度、令和2年  
度に実施した。